

納付方法

保険料は原則として受給している年金から天引きされます



○保険料

はい

住民税を納めている

生活保護を受給している

いいえ

○所得に

平成17年度の所得の特別控除額が下記の通りであれば、課税されません。

段階
第1段階
第2段階
第3段階
第4段階
第5段階

お

楽しく美しいまちづくり通信...79

追分石探訪

●浅石口の追分石

二戸駅から主要地方道二戸・安代線を浄法寺町方面に向かって約六、二キロ、車で十分ほどの浅石バス停の脇にあります。自然石ではなく整形された石に「向一戸」の文字しか見られないもので、市内では特異な追分石です。

写真中に

- ①碑名 ②年号 ③高さ(センチ)を表示しています。



●浅石の追分石

浅石口の追分石から浅石方面に向かって約〇・七キロのところに案内板が設置されています。「右山道左一戸」と刻まれた自

●似鳥字向田付近の追分石

最初の目印は、浄法寺町方面へ向かって道路の左手に見える丸い屋根の御返地児童館です。そこを過ぎて似鳥橋を渡り、すぐ左に入ると、「白幡八幡宮」の鳥居があります。そのまま、道なりに進むとT字路にさしかかります。そこから右に約三百メートルの所に気をつけないと見落とすような追分石があります。

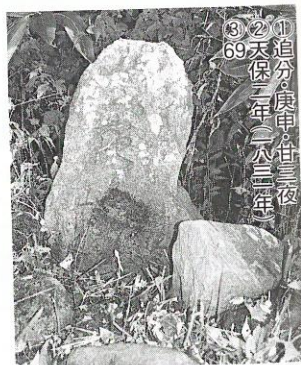
石には「右ハ浄法寺桂清水左ハ山田道」のほか「庚申・廿三夜」の文字が刻まれています。このような併刻は、市内に四カ所ありますが、ほとんどが「南無阿弥陀仏」であり、「庚申・廿三夜」の文字が見られる



●安比字上野平の追分石

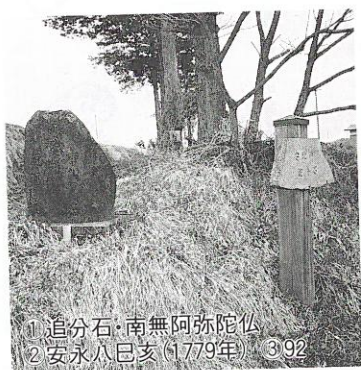
二戸警察署御返地駐在所を過ぎて、すぐ右折し登り坂の道に入ります。足沢に至る大きな道です。その坂をしばらく上がり、登りきったあたりの右手の道路より少し小高い所にあります。

石には、「右ハ大築通 左ハ福岡通」のほか「南無阿弥陀仏」と刻まれています。



●福田石測の追分石

浄法寺町方面に向かって左手



①追分石・南無阿弥陀仏 ②安永八日亥(1779年) ③92

追分石が市内に何基あるかご存じですか。

現在、市内には十三基の追分石が『宝』として残っています。市内で一番古いと言われているのが、金田一上平の「トトメキ追分石」・享保二十年(西暦一七三五年)に建てられたものです。石には、「右ハ下斗米へみち左ハふくおかみち」のほか「南無阿弥陀仏」の文字が刻まれています。

追分石は、分岐点に建てられ、今でいう道路標識の役割を持つものですが、その他に村へ災いが入ってこないようにとの願いを込めて「南無阿弥陀仏」の文字と一緒に刻んだと言われています。



①追分石・安永八年(1779年) ②58

田バス停が、最初の目印です。そこを過ぎて右手に折れ、川原橋を渡って直進し、突きあたりを左折します。農家の家並みが切れた所の右手に目指す追分石があります。

石には、「右山みち 左浄法寺」のほか「維岐可左勿為右」と刻まれています。

漢文の部分は「これから先の道は左に行きなさい。右へ行つてはいけない」の意味のようです。武士とか天台寺へ向かう僧侶のための案内文と推測されます。

地区に宝の案内板が、設置されて約6月です。地元の安比老人クラブ(高田恕)の皆さんは設置当初から、草取りや花ボランティア活動をしています。

